



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月26日

上場会社名 日本興業株式会社  
 コード番号 5279 URL <http://www.nihon-kogyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三輪 武志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理部門管掌 (氏名) 山口 芳美  
 総務人事部長

TEL 087-894-8130

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,640	21.4	23		38		41	
2019年3月期第1四半期	2,174	19.7	97		80		64	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 13百万円 ( %) 2019年3月期第1四半期 70百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	14.49	
2019年3月期第1四半期	22.41	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	13,408	6,409	47.6
2019年3月期	14,678	6,455	43.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 6,384百万円 2019年3月期 6,430百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		20.00	20.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	10.2	20		10		60		20.72
通期	12,300	2.6	270	10.8	290	1.7	150	23.3	51.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	3,064,200 株	2019年3月期	3,064,200 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	167,968 株	2019年3月期	167,990 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	2,896,216 株	2019年3月期1Q	2,896,232 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が持続しているものの、米中間の貿易摩擦に伴う国内経済への影響が顕在化しつつあるなど、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループ（当社および子会社）は、販売部門においては、営業部門と各支店に配置の営業推進部が連携の上、役所やコンサルに向けた提案営業を鋭意推進するとともに、民需開拓にも注力するなど、受注獲得に努めてまいりました。また、採算性の向上に向けて、高付加価値製品の拡販や難易度の高い特注物件の受注にも注力いたしました。加えて、ベトナムSECOIN社と当社舗装材に係るライセンス契約について基本合意を締結し、かねてより課題であった東南アジアにおける事業展開に向け一歩を踏み出しました。一方、生産部門においては、生産性の向上をより一層推進するとともに、生産子会社ならびに協力会社との連携を強化しながら更なる原価の低減を推し進め、物流の効率化にも取り組むなど、グループ一丸となって収益の向上に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、特に景観資材事業が好調に推移したことにより、売上高は26億40百万円（前年同期比21.4%増）となりました。一方、損益面では、増収に加え、高付加価値製品の拡販が奏功し、営業利益は23百万円（前年同四半期は97百万円の損失）、経常利益は38百万円（前年同四半期は80百万円の損失）となった一方、投資有価証券評価損の計上に伴い、親会社株主に帰属する四半期純損失は41百万円（前年同四半期は64百万円の損失）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

## (セグメント別売上高の状況)

区分	期別	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間	
		金額	構成比	金額	構成比
		百万円	%	百万円	%
土木資材事業		1,359	62.5	1,530	58.0
景観資材事業		516	23.8	792	30.0
エクステリア事業		298	13.7	317	12.0
合計		2,174	100.0	2,640	100.0

## (土木資材事業)

昨年発生 of 西日本豪雨災害の復旧・復興が進むとともに、遅延していた公共工事が進捗したことで、ボックスカルバートや擁壁が好調に推移したほか、建設現場における人手不足を背景に、現場打ちからプレキャスト化への提案を強力に推し進めた結果、当セグメントの売上高は15億30百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

## (景観資材事業)

主力エリアの関東地区において東京オリンピック・パラリンピック関連物件が進捗するとともに、その他のエリアにおいても物件工事が順調に進捗したことで、主力のバリアフリータイプを始め、透水・保水タイプや遮熱性に優れた舗装材が大きく売上を伸ばしたほか、ベンチを始めとする特注のファニチュア関連製品も好調に推移したことにより、当セグメントの売上高は7億92百万円（前年同期比53.5%増）と、大幅な増収となりました。

## (エクステリア事業)

品揃えを図りハウスメーカーへの拡販を推進した結果、主力製品の立水栓を始めとするガーデン関連製品が堅調に推移したことにより、当セグメントの売上高は3億17百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて12億70百万円減少し、134億8百万円となりました。これは主に、売上高に季節的変動があることで売上債権の受取手形及び売掛金が7億64百万円減少、ならびに滋賀県内の固定資産の譲渡に伴い土地が8億円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて12億23百万円減少し、69億98百万円となりました。これは主に、売上高の季節的変動に伴い仕入債務の支払手形及び買掛金が4億33百万円減少、ならびに短期借入金が6億10百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて46百万円減少し、64億9百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上ならびに配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は47.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想しました結果、2019年4月26日に発表しました業績予想値を一部修正しております。詳細は、同日発表の「2020年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,146,777	1,310,194
受取手形及び売掛金	4,219,316	3,455,144
電子記録債権	749,784	755,732
商品及び製品	1,060,574	1,133,944
仕掛品	117,511	102,818
未成工事支出金	8,647	30,782
原材料及び貯蔵品	223,027	274,689
その他	40,182	42,481
貸倒引当金	△4,790	△3,150
流動資産合計	7,561,032	7,102,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,021,742	989,347
土地	4,395,431	3,594,791
その他(純額)	737,568	765,818
有形固定資産合計	6,154,742	5,349,957
無形固定資産	191,386	191,400
投資その他の資産		
投資有価証券	503,408	523,403
退職給付に係る資産	64,770	74,637
繰延税金資産	126,533	91,337
その他	87,306	85,664
貸倒引当金	△10,707	△10,666
投資その他の資産合計	771,310	764,376
固定資産合計	7,117,440	6,305,733
資産合計	14,678,472	13,408,371
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,889,822	1,456,123
電子記録債務	901,592	887,278
短期借入金	3,384,395	2,774,384
未払法人税等	71,147	13,057
未払消費税等	94,153	39,599
未払費用	177,430	291,747
賞与引当金	116,349	75,175
役員賞与引当金	7,456	—
その他	349,414	324,439
流動負債合計	6,991,761	5,861,806
固定負債		
長期借入金	1,039,723	924,190
その他	191,264	212,824
固定負債合計	1,230,987	1,137,014
負債合計	8,222,748	6,998,821

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,800	2,019,800
資本剰余金	2,016,609	2,016,611
利益剰余金	2,299,215	2,199,311
自己株式	△90,964	△90,952
株主資本合計	6,244,660	6,144,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152,722	208,000
退職給付に係る調整累計額	33,066	31,363
その他の包括利益累計額合計	185,788	239,363
非支配株主持分	25,274	25,416
純資産合計	6,455,723	6,409,549
負債純資産合計	14,678,472	13,408,371

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	2,174,530	2,640,134
売上原価	1,775,979	2,131,711
売上総利益	398,551	508,422
販売費及び一般管理費	495,832	485,238
営業利益又は営業損失(△)	△97,280	23,183
営業外収益		
受取配当金	7,149	7,665
受取賃貸料	6,267	5,548
工業所有権実施許諾料	1,688	1,725
雑収入	8,759	7,245
営業外収益合計	23,865	22,184
営業外費用		
支払利息	5,157	4,462
賃貸費用	1,278	1,456
雑損失	876	867
営業外費用合計	7,312	6,786
経常利益又は経常損失(△)	△80,728	38,582
特別損失		
固定資産売却損	—	1,395
固定資産除却損	2,045	—
投資有価証券評価損	—	59,565
特別損失合計	2,045	60,961
税金等調整前四半期純損失(△)	△82,774	△22,378
法人税、住民税及び事業税	6,756	6,361
法人税等調整額	△25,174	11,658
法人税等合計	△18,418	18,019
四半期純損失(△)	△64,355	△40,398
非支配株主に帰属する四半期純利益	561	1,581
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△64,917	△41,979



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△64,355	△40,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,642	55,277
退職給付に係る調整額	△2,729	△1,702
その他の包括利益合計	△6,371	53,574
四半期包括利益	△70,726	13,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△71,288	11,594
非支配株主に係る四半期包括利益	561	1,581

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。